



1月11日 東地申第31号

「2022年度営業関係施策(その1)」についての申し入れ【蒲田駅】提出!

今回、蒲田駅に対して示されているのは「ホーム体制の見直し」「執務場所の集約」

◎提案時の議論では…

大田運輸区発足時に信号所が支障すると議論になっていたが、支障することなく進んだ。しかし、今回予算がついたことから実施する。

効率化を目的とした施策ではない。

結果的に要員が減り、社員は納得しない。しっかり説明すべきだ!

現場でしっかりと説明していく。

◎現場では「安全・サービスを向上させる施策にしていかなければならない」と説明され…

夕通勤時間帯のホーム立番を残すためには…

議論し、作業ダイヤ作成を行ったものの、
駅長の一方的な指示により…

廃止!

**現場社員の議論と発意を蔑ろにするものであり、
「安全・サービスを向上させる」という目的にも矛盾している!**

<申し入れ内容>

1. 蒲田駅ホーム体制を見直す目的と考え方について明らかにすること。
2. 踏切の異常時対応について、これまで通り迅速に対応が出来る体制とすること。
3. 蒲田駅輸送業務において、ホーム立番の必要な時間帯に対する考え方を明らかにすること。また、旅客流動の多い時間帯である夕通勤時間帯のホーム上のお客さまの安全の確保と異常時での対応を迅速に行える体制の確保、さらには輸送業務を教育する観点から、夕通勤時間帯のホーム立番業務の廃止を見直すこと。
4. 今施策によりホーム体制が見直しとなる一方で、大田運輸区乗務員の兼務発令を行う目的を明らかにすること。また、提案している施策との整合性について会社の考え方を明らかにすること。
5. 車内の清掃対応や遺失物捜索に対応できる駅が減少している現状を踏まえ、今後の考え方を明らかにすること。
6. 今回の施策を進めるにあたり安全・安定輸送に関わる業務や設備の整備については、現場で業務を行う社員の理解を得ながら早急に整備すること。
7. 蒲田駅の執務箇所、日常的に清掃が必要な箇所についての考え方を明らかにすること。なお、その箇所を清掃ができる体制を整えること。

労使議論や現場の声が無視される施策の進め方は認められない! 地本は精力的に団体交渉に臨みます!